

大使館情報

2021年2月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

【内政】

- (1) マナウス市における医療崩壊
- (2) 地方財政支援法の成立
- (3) 新型コロナ緊急使用ワクチンの認可
- (4) ボルソナーロ政権の支持率
- (5) 反政府デモの発生

【外交】

- (1) 茂木外務大臣の訪問
- (2) ボルソナーロ大統領によるバイデン米国大統領就任に対する祝意表明
- (3) アストラゼネカ社製新型コロナウイルス感染症ワクチンの到着
- (4) アラウージョ外務大臣によるテレビ会談等への出席

3. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

4. トピック

- (1) オンライン新年会の開催
- (2) 山田大使による連邦区（DF）保健局への医療用手袋贈呈式への出席
- (3) ブラジル日本商工会議所のオンライン新年会（在サンパウロ総）

5. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢報告（1月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）に関して、1月29日時点で、GDP成長率予測については、2021年は3.50%で先週から0.01%上昇、2022年は2.50%で先週と変わらず。また、インフレ率予測については、2021年、2022年については3.49%となっている。
- (イ) 11月の鉱工業生産指数は、前月比+1.2%で7ヶ月連続の増加を記録。前年同月比も+2.8ポイントを記録した。
- (ウ) 11月の小売売上高は、前月比▲0.1%、前年同月比+3.4%を記録した。
- (エ) 全国の失業率（9～11月平均）は14.1%となり、8～10月の平均14.3%より0.2ポイント改善した。前年同期比（2019年9～11月）では2.9%上昇した。
- (オ) 12月の拡大消費者物価指数（IPCA）は前月比+1.35%となり、前月の0.89%から0.46%上昇。2002年12月の2.1%及び2003年2月の1.57%以来の数値となる。
- (カ) 2020年12月の貿易収支は前年同月比▲100.7%の4,160万ドルの赤字、2020年1月～12月の貿易収支は前年度+7.0%の509億9,400万ドルの黒字を記録した。

(2) 経済政策等

- (ア) ボルソナーロ大統領とゲデス経済大臣は、財政の支出上限ルールを尊重し、緊急支援金の再給付の可能性を否定。
- (イ) フォード社は2021年内に伯国内の全ての工場を閉鎖することを発表。伯経済省は本決定を同社のグローバル戦略の一環とする一方、関係業界等からはブラジルコストによるものとの意見が出されている。
- (ウ) 1月18日、ブラジル国内において中国シノバック・バイオテクス社の新型コロナウイルスワクチン「コロナバック」の接種を開始。

(3) 金融政策

1月20日、伯中央銀行の金融政策委員会は、政策金利（Selic）を年率2.00%に据え置くことを決定。据え置きは前回会合に続き4回連続となる。次回会合は3月16日及び17日に開催予定。

(4) 為替市場

- (ア) 1月の為替レートは、5.20～5.49リアル／ドル台で推移。
- (イ) 月の前半は米国の政治不安から5.40リアル台後半の水準での推移となっ

たが、6～7日にバイデン新大統領の当選が米議会で承認されたことを好感して5.20レアル台までレアルが上昇した。

- (ウ) 更に、新型コロナワクチンの伯国内の使用承認とその後のワクチンをめぐる報道により5.30レアル台での取引となった。20日、中銀が政策金利(Selic)の据え置きとフォワード・ガイダンスの撤廃を発表して一時レアルが上昇したが、伯議会における追加緊急援助の必要性をめぐる議論や民営化の遅れによる財政悪化懸念が再浮上したことで5.30レアル台後半～5.40レアル台半ばまでレアルは下落した。

(5) 株式市場

- (ア) 1月の株式市場は、115,067～125,076ポイントで推移。
- (イ) 月の前半は米国議会上下両院にてバイデン新大統領の当選が承認されたことを受け財政支出拡大の期待、また、新型コロナワクチン・コロナバック接種が、ANVISA(衛生監督庁)の緊急使用承認により伯国内で開始(1月18日)されたことを好感し、Ibovespa指数は125,000ポイントまで上昇。
- (ウ) その後、アストラゼネカ社、シノバック社が製造するワクチンについてANVISAの緊急使用承認が下りたものの、ワクチンの供給に一時遅れが予想されたことや、24日にエレクトロブラス社のCEOが辞任を発表し民営化の進展が遅れる恐れが生じたこと等から、110,000ポイント後半へと下落した。

2. ブラジル政治情勢（1月の出来事）

【内政】

（1）マナウス市における医療崩壊

昨年末より医療体制が逼迫していたアマゾナス州都マナウス市において、8日頃から新型コロナウイルス感染症患者向け酸素ボンベの不足が発生したことにより、多数の入院患者が死亡した。伯軍は、酸素ボンベの同市への輸送及び患者の他州都への緊急搬送を行った。

（2）地方財政支援法の成立

13日、ボルソナーロ大統領が地方財政支援法案を裁可し、同法律が成立した。これにより、全国各州及び各市町村は、今後9年間にわたり、計2,170億レアル相当の支援を連邦政府から受けることが可能となる。

（3）新型コロナ緊急使用ワクチンの認可

17日、国家衛生庁（ANVISA）は理事会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策のための2つのワクチン（①中国シノバック社とサンパウロ州ブタンタン研究所の共同開発によるコロナバック及び②英アストラゼネカ社、オックスフォード大学及び伯オズワルドクルス財団（Fiocruz）の共同開発、印Serum製薬研究所によって製造されたワクチン）の緊急使用を承認した。

（4）ボルソナーロ政権の支持率

22日、ダッタフォーリャ社による世論調査の結果が発表され、政権支持率は31%に低下し、2020年6月以来7か月ぶりに不支持率（40%）を下回った。

（5）反政府デモの発生

（ア）23日、ブラジリア、サンパウロ市、リオデジャネイロ市等の主要都市において、左派政党及び労働組合等が反政府デモを実施し、ボルソナーロ大統領に対する弾劾の必要性を主張した。

（イ）24日、サンパウロ市及びリオデジャネイロ市等の主要都市において、ブラジル自由運動（MBL）や「街頭に出よ（Vem pra Rua）」等の団体が車列デモを行い、ボルソナーロ大統領の弾劾を要求した。

【外交】

（1）茂木外務大臣の訪問

8日、ブラジリアを訪問中の茂木外務大臣はボルソナーロ大統領を表敬した。また、アラウージョ外務大臣と日伯外相会談を行った後、アマゾン地域の生物

多様性の持続可能な利用に関するトメアス協力覚書、並びに、ニオブ及びグラフェンの生産及び利用に関する協力覚書に署名した。更に、両国政府間において、技術協力に関する3件の文書への署名が行われた。

(※詳細については下記の外務省ウェブサイトをご参照下さい。)

「茂木外務大臣のブラジル訪問」

https://www.mofa.go.jp/mofaj/la_c/sa/br/page1_000921.html

(2) ボルソナーロ大統領によるバイデン米国大統領就任に対する祝意表明

20日、ボルソナーロ大統領は、同日に就任したバイデン米国新大統領への祝意ツイートを発信した。ボルソナーロ大統領は、伯米関係は長く堅固であり、民主主義及び個人の自由の擁護等の崇高な価値に基づいていることを強調し、両国の繁栄及び両国国民の幸福のために取り組むことに引き続き尽力していく旨述べた。

(3) アストラゼネカ社製新型コロナウイルス感染症ワクチンの到着

22日、オックスフォード大学とアストラゼネカ社の共同開発による新型コロナウイルス感染症ワクチン200万回分がインドからリオデジャネイロ空軍基地に到着した。

(4) アラウージョ外務大臣によるテレビ会談等への出席

アラウージョ外務大臣は、11日にグリアOECD事務総長、12日にサントス・シルヴァ・ポルトガル外相、13日にラーブ英外相、15日にトッド・ガイアナ外相、26日にボレルEU外務・安全保障政策上級代表との間でテレビ会談を行い、また、25日にゴンサレス・パラグアイ外相と電話会談を行った。

3. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う諸外国からの入国制限

- (1) 8日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置につき、航空事業者等に対する措置を追加する旨の政令第651号を公布した。
- (2) 26日、伯政府は、外国人（国籍不問）の入国を制限する措置を延長し、南アフリカ共和国から入国する航空便及び渡航者に対する制限を追加する旨の政令第652号を公布した。

4. トピック

(1) オンライン新年会の開催

1月15日19時から19時20分まで、在ブラジル日本国大使館は、オンライン新年会を開催した。同イベントには、当地日系団体及び日本語学校の代表者

が、適切な感染症対策を実施しつつ対面にて参加するとともに、多くの方々がオンラインで視聴した。

同新年会においては、国歌演奏、山田大使による新年挨拶、鏡開きが行われた。山田大使は、ブラジルの日系社会による、新型コロナ禍における積極的な活動及び長年に渡るブラジル社会への多大なる貢献に改めて敬意を表するとともに、2021年の日伯関係及び日系社会の更なる発展への期待を述べた。また、日系社会と日本との連携及び協力を更に深めることが自らの目標である旨述べた。

(山田大使による新年挨拶全文は[こちら](#))



(2) 山田大使による連邦区 (DF) 保健局への医療用手袋贈呈式への出席

1月20日、日本大使館は連邦区 (DF) 保健局に対し医療従事者用の手袋4,000組を寄付し、山田大使は同保健局にて行われたその贈呈式に出席した。同贈呈式には、オクモト DF 保健局長の他、レイラ・バーホス連邦上院議員も出席した。

これらの手袋は、新型コロナウイルス対策に従事する医療関係者によって活用されるものであり、日本大使館として、DF 政府の新型コロナウイルス対策の推進を支援するもの。

日本政府は、新型コロナウイルス対策において今後も引き続きブラジルに協力していく。



(3) ブラジル日本商工会議所のオンライン新年会（在サンパウロ総）

1月22日、ブラジル日本商工会議所主催のオンライン新年会が開催され、村田俊典会頭をはじめとする同商工会議所幹部、山田大使、桑名総領事等が参加した。

オンライン新年会では、村田会頭及び山田大使が挨拶を行うとともに、桑名総領事が乾杯の音頭をとった。また、田中直毅・国際公共政策研究センター理事長より、「バイデンの米国の対外関与を決めるグリーン・ニューディールと対中姿勢」というテーマで講演（録画配信）が行われた。



5. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) アニメアワードブラジル 2021 (在ブラジル大使館)

日時：2月6日(土) 19時～

サイト：[Omelete社 Youtube チャンネル](#)

内容：昨年日本アニメ・漫画作品の人気投票を行い発表する。冒頭、山田駐ブラジル日本国大使の挨拶が流れる予定。

(イ) 日本文化週間 (在クリチバ総領事館)

日時：2月24日(水)～26日(金)

サイト：[在クリチバ総領事館 Facebook](#)

内容：2月23日の天皇誕生日に合わせて、3日間にわたり日本の伝統文化、ポップカルチャー及び和食に関するレクチャーをオンライン配信する。

(ウ) REN ブラジル発足記念オンラインイベント (在ブラジル大使館)

日時：2月26日(金) 19時～

サイト：(近日当館HP・SNSで告知予定)

内容：若手日系企業家団体REN (Rede Nikkei do Brasil) の発足記念イベントを公邸から中継する。ブラジル全国の若手日系企業家のネットワークを構築し、日系企業家間のビジネス上の連携の強化に繋げる。

(エ) Instagram 定期配信事業 (国際交流基金)

日時：2月1日～3月26日(毎週月・金曜日)

サイト：https://www.instagram.com/japanfoundation_sp/?hl=ja

内容：曜日毎に日本文化に関連するテーマを定め、そのテーマに沿った写真を掲載していく国際交流基金サンパウロ日本文化センター事業。

(オ) 紙芝居紹介事業 (国際交流基金)

日時：2月1日、18日

サイト：https://fjisp.org.br/vamos_de_kamishibai/

内容：日本語教師、学習者向けに紙芝居動画を発信する事業。

(カ) 国際交流基金サンパウロ日本文化センター所長情報発信事業 (国際交流基金)

日時：毎週水曜日 (2月3日、10日、17日、24日)

サイト：[国際交流基金サンパウロ日本文化センターFacebook](#)

内容: 洲崎国際交流基金サンパウロ日本文化センター所長が日本語に関連した内容を日記風に発信する事業。

(キ) 「AKA」 舞踏オンライン公演 (国際交流基金)

日時: 2月4日～7日

サイト: <https://linktr.ee/NucleoTabi>

内容: Emilie Sugai 氏のダンス新作オンライン公演。美術家の大竹富江氏の作品

(ク) JFFPlus (オンライン日本映画祭) (国際交流基金)

日時: 2月5日～2月14日 (毎日上映作品を更新)

サイト: <https://watch.jff.jp/go/>

内容: 10 日間に渡り、無料で視聴できる日本映画を日替わりでオンライン配信する国際交流基金の主催事業。

(ケ) 「STAGE BEYOND BORDERS - Selection of Japanese Performances」 舞台公演オンライン配信事業 (国際交流基金)

日時: 2月12日 (金) (予定) に第1回配信を実施する。

サイト: <https://www.jpj.go.jp/e/>

内容: 国際交流基金が厳選した日本の優れた舞台公演を、国境を越えて発信していく国際交流基金の主催事業。

(コ) Tradução em foco (国際交流基金)

日時: 2月22日

サイト: [国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

内容: ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者の活動を紹介するエッセーシリーズ。

Facebook は [こちら](#)

インスタグラムは [こちら](#)

(サ) Destaques da biblioteca (国際交流基金)

日時: 2月下旬予定

サイト: [国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

内容: 国際交流基金サンパウロ日本文化センターに収蔵されている図書資料等を紹介する事業。

(シ) BIBLIOTECA LITERÁRIA ONLINE (国際交流基金)

日時：2月下旬予定

サイト：[国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

内容:毎回1名の日本の作家にスポットをあて、様々な角度から紹介する事業。

Facebookは[こちら](#)

インスタグラムは[こちら](#)

(ス) 日伯次世代ファシリテーターセミナー (オンライン講演会) (国際交流基金)

日時：2月下旬—3月上旬

サイト：<https://fjsp.org.br/>

内容：日本やブラジルの専門家が講師となり、コミュニティー、町おこし、持続可能性や竹の積極的活用について発信するウェビナー事業。次世代の若者のスキルアップと知的交流を意図している。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を掲載している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

ブラジルにおいては、依然として、新型コロナウイルス感染拡大及び変異株の感染が確認されている。年始から2月のカーニバル期間（本年は2月13・14日の週末から17日の「灰の日」までの期間）までは、コロナ禍においても人の移動も増える事が予想されるので、防犯意識を高めることが重要である。

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日：2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsposhazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1：十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市
- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏

- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先を掲載している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html